



Aターンインタビュー

日本精機株式会社

向井 亨さん

あきたへ、あなたも、あしたから

Aターン情報誌 あきた日和 AKITA BIYORI

「生まれたところがたまたま北海道で、秋田
という場所に出会った。自分を縛っている思
い込みを捨てた時、人生を思うように生き
ていくことができる。家族の協力のもとに、
自分の仕事に誇りを持つ同僚と共に仕事が
できるのは喜びです。」

Aターン者採用企業の紹介

日本精機株式会社

Aターンプラザ秋田をご利用ください

秋田の「今」がよく分かる

あきた A・LA・CARTE

注目!の秋田人

きき酒師 佐藤未来さん

INFORMATION

「秋田県合同就職説明会」を開催します

再調査票の提出はお済みでしょうか?

2009
冬号
vol.44



財団法人 秋田県ふるさと定住機構

もう一度、秋田に住みたい

秋田で子育てをしたい、両親との同居を希望した……。Aターンの理由は様々ですが、向井さんの場合はちょっと違っていました。

「北海道で生まれ、秋田大学鶴山学部に進学しました。良い友人、尊敬する恩師に出会えた大学時代を心から満喫しました。私にとって秋田は、そんな出会いをもたらしてくれた場所。ここで働くことができたらいいだろうな、と学生時代から考えていました。」

製造業の現場に関わっていたいという気持ちが強かった向井さん。大

学卒業後就職した北海道の造船会社では造船技術者として14年間従事しました。

「卒業したら地元に帰るものだ、と勝手に思い込んでいたのです。仕事内容は自分の本意ではあったのですが、とにかく激務。土日関係なく仕事をしなくてはならないライフスタイルに疲れていたことも、転職を考えるきっかけだったと思います。」

目が回るほど忙しく、ストレスも募る一方の毎日。そんな向井さんにとって、年に一度秋田を訪れ、大学時代の友人や恩師とお酒を酌み交わ

しながら過ごす時間はかけがえのないものとなりました。

「もう一度秋田に住みたい、というのが転職を考えた一番の理由だったのかもしれません。」

インターネットでAターン登録をすませたのが一昨年の8月。その後何度もAターンプラザ秋田を通じて企業から面接リクエストがあったのですが、向井さんの希望通りの職種ではなかったそうです。

「そんなことが2~3回続いて、もうダメなのかな、とあきらめかけたこともあります。」

向井 亨さん

日本精機株式会社
品質管理課

昭和46年生まれ 北海道出身
秋田大学鶴山学部物質工学科卒業

免許資格：2級溶接施工管理（WES）、1級土木施工管理技士、
1級鉄骨製作管理技術者、玉掛け技能者、高所作業車技能講習、アーク溶接技能講習

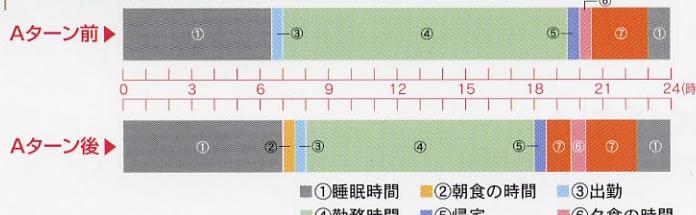


Interview

データで見る

秋田の暮らし

TIME編



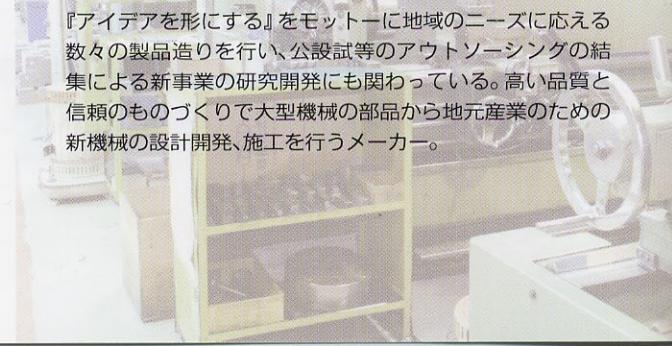
MONEY編



日本精機株式会社

本社・工場 秋田市川尻町字大川反170-28

『アイデアを形にする』をモットーに地域のニーズに応える数々の製品作りを行い、公設試等のアウトソーシングの結集による新事業の研究開発にも関わっている。高い品質と信頼のものづくりで大型機械の部品から地元産業のための新機械の設計開発、施工を行うメーカー。



そんな時、ハローワークに提出されていた日本精機の求人を紹介されます。求人の内容に「ピンときて」早速申込みをし、Aターン企業面接交通費助成金を利用して家族見学会に参加。2008年4月に面接を受けて、5月には管理技術者として見事採用が決定しました。

両親の言葉に後押しされて

向井さんご夫婦はそろって北海道の出身ですが、生まれ育った町を離れるという寂しさはありませんでしたか？

「自分にとっては秋田が第二の故郷で

すが、妻にとって見れば初めての土地ですから多少なりとも不安はありました。それと同時に私と妻の両親のことが気がかりでした。」

長男であり、大学卒業後も地元北海道に戻ってきた向井さんにとってみれば、自分が両親を支えなくてはいけないという思いがどこかにあったそうです。

「ところが、以外にもすんなりと受け入れられた。好きなところで好きに生きてよいと言う両親の言葉に、あらためて自分の人生と向き合う機会をもらった、と考えています。」

今は奥様と3歳になるお子さんとの3人暮らし。休みの日には県内の小旅行に出かけ、家族と一緒に過ごす時間も増えた、という向井さん。夏の暑さと梅雨にはまだ慣れないのですが、秋田の四季折々の風景の美しさ、食べ物、職場、訪れる先々で人の温かさに触れるたびに、「ああ、秋田でよかったです。」と感じているそうです。

Aターンを考えている方々になにかアドバイスはありますか？

「情報収集力が大事だと思います。ただ待っているだけでは難しいので、ネットで情報や求人を見るクセをつけてしまうのもいいかも知れません。」

大学時代の友人や恩師という人脈があったのも財産だった、と話す向井さん。

「生まれたところがたまたま北海道で、秋田という場所に出会った。自分を縛っている思い込みを捨てた時、人生を思うように生きていくことができる。両親や家族の協力のもとに、自分の仕事に誇りを持つ同僚と共に仕事ができるのは喜びです。」

と話す向井さんの笑顔には、ここ秋田で暮らし、働くことの充実感で溢れているようでした。これからのご活躍が期待されます。



Aターン採用を語る



日本精機株式会社
常務取締役 総務部長
渡部 鉄栄さん

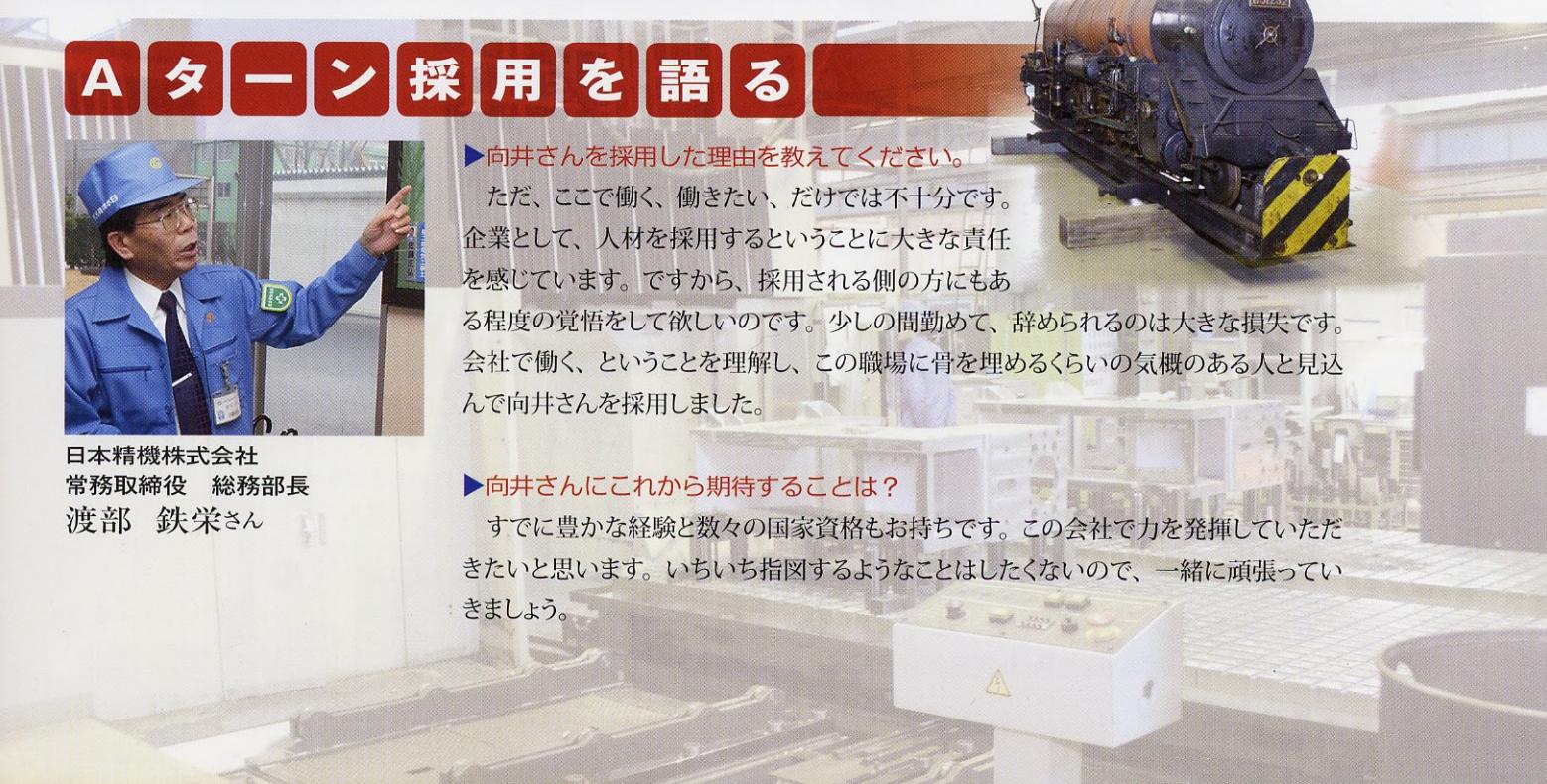
▶向井さんを採用した理由を教えてください。

ただ、ここで働く、働きたい、だけでは不十分です。企業として、人材を採用するということに大きな責任を感じています。ですから、採用される側の方にもある程度の覚悟をして欲しいのです。少しの間勤めて、辞められるのは大きな損失です。会社で働く、ということを理解し、この職場に骨を埋めるくらいの気概のある人と見込んで向井さんを採用しました。



▶向井さんにこれから期待することは？

すでに豊かな経験と数々の国家資格もお持ちです。この会社で力を発揮していただきたいと思います。いちいち指図するようなことはしたくないので、一緒に頑張っていきましょう。





工作機械とプラントのメーカー

日本精機株式会社

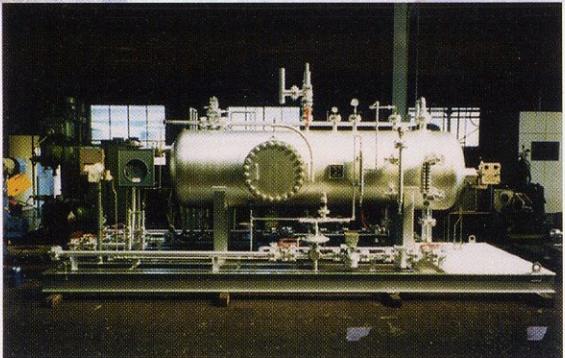
住所：秋田県秋田市川尻町字大川反 170-28

TEL : 018-863-1631 FAX : 018-862-8965

URL : <http://www.nihonseiki.co.jp>

OIL & GAS GEOTHERMAL PLANTS オイル、ガス&地熱

つかわれた高度な技術で造る
集油・集ガスプラント
日本のエネルギー資源確保に貢献



●三相セパレーター

地下から湧出する原油を油・水・天然ガスに分離し計量する装置。

会社の特色

1940年に工作機械メーカーとして東京都にて創業しました。1945年に秋田へ移転して、国内石油資源の開発に深く関わることになりました。国内唯一の石油・天然ガス生産プラントの専門メーカーとして、秋田、新潟、北海道を始めとする国内、更には海外にも輸出実績があります。

他に地下資源に関連する分野では地熱発電蒸気生産プラント、化合物半導体結晶成長炉、真空製膜装置も製作しています。それと並行して工作機械を始めとした、各種産業機械の分野でもプロセスまでを見据えた設計開発技術が評価され、多くのお客様からご支持いただいております。



●290KW(1,000,000Btu/hr) インダイレクトヒーター

天然ガスハイドレート（ガスの周囲を水分子が囲んだ固体結晶）防止を目的として天然ガスを加熱する装置。

Aターンプラザ秋田をご利用ください！

Aターン希望の方へ

Aターン相談

職業相談経験が豊富な専門の相談員が、Aターン就職をはじめとした定住に係る各種相談を行います。職務経歴書等の応募書類作成に係る指導・援助も行っています。

なお、来所できない方については、電話やメールでの相談にも応じています。



Aターンプラザ相談員

Aターン求人への応募

求人への応募を希望する方は、Aターンプラザ秋田まで連絡してください。求人企業と連絡調整のうえ紹介状を交付します。なお、Aターン企業面接交通費助成金の利用についても同時にご案内します。

また、詳しい求人内容を知りたい場合もお気軽に問い合わせください。

関連資料の提供

Aターン求人情報、企業ガイドブック、U・Iターン情報誌、新規就農関係資料、住宅関係資料、福祉関係資料、公務員試験案内、学卒求人情報、職務経歴書作成資料などAターンに関する情報が盛りだくさんです。

個別求人開拓

Aターンプラザ秋田での職業相談により、既存求人では就職が難しいと判断された場合や、Aターン時期が既に決定している場合に、履歴書や職務経歴書を提出していただける方については、県内の各地域振興局に配置されている雇用労働アドバイザーが直接企業を訪問して求人開拓を行います。

企業の採用担当の方へ

Aターン求人の申し込み

Aターン希望者の採用をお考えの場合、Aターンプラザ秋田に求人を申し込みください。求人はAターン相談窓口で公開するほか、求人情報一覧として定期的にAターン登録者へ提供します。また、希望条件が合致する登録者に対しては、ダイレクトメール等で情報提供します。求人の申し込みはこちらから → <http://www.furusato-teiju.jp/menu5.html>

リクエスト制度の利用

「Aターン登録者情報(希望職種別)」から特定の登録者と面接したい場合は、面接リクエストカードにAターン求人票、会社案内を人数分添えて、Aターンプラザ秋田に送付してください。

お預かりした資料は、すべてAターンプラザからリクエストされた登録者に対して送付し、登録者からの回答結果をお知らせします。

リクエスト制度については、「Aターン登録者情報」挟み込みの様式をご利用ください。

Aターン登録者の資格・免許、職務経験などを掲載した「Aターン登録者情報」の申し込みはこちらから → http://www.furusato-teiju.jp/menu5_down.html



銀座ブース会議室

面接会場の提供

リクエスト制度により面接を行う場合、「Aターンプラザ秋田（土曜日は銀座ブース）」を会場として利用することができます。

会場を予約する必要がありますので、リクエスト制度利用時にお問い合わせください。

はじめて飲んだ日本酒は、体の中にお陽さまを連れてきた。
ふんわり、ほんのり、心をほどく日本酒の魅力を、伝えたい。
広めたい。そんな気持ちをあつめた「ザ・sake～きき酒師
ミキの酒日記～」。

<http://yaplog.jp/sakesakesake>



注目! の秋田人

きき酒師 佐藤 未来さん

Q 日本酒に興味をもったきっかけを教えてください。

大学卒業後就職した醸造メーカーで営業部に配属され、全国の一般消費者から直接お酒の発注を請け負う「直小売」担当になりました。仕事が楽しくて、自分が販売しているものをもっと知りたいと思い、初任給で日本酒を買ったのがきっかけです。飲んでみると、すっきりとまろやかでたたかい。陽だまりの中にいるような感覚を呼び起こしてくれました。

Q その感動がブログ制作につながる?

ちょうどその頃テーマを持ったブログを始めたいなど考えていて、日本酒に会って「これしかないだろう」と。それからは趣味と実益をかねて、自分が味わった日本酒の感想、訪れた蔵の杜氏や蔵人との交流を書きつづっていました。次第に日本各地で同じ様に日本酒に興味を持つ人達との情報交換の場になり、自分でも驚くくらいの広がりを見せてくれました。

Q 初めてきき酒選手権に参加されたのが2006年ですね。

友達に誘われて、軽い気持ちで参加しました。7種類のお酒の味を覚えた後、もう一つのテーブルに並べ代えて置かれた同種のお酒、7種類をあてる競技です。よく酔っぱらいはしないのかと聞かれるのですが、飲み込まずに口の





中で転がすように味を確かめた後は吐き出してしまうので、その心配はありません。

Q 未来さんにとって、日本酒のおもしろみ、楽しさとは何ですか？

例えば、日本酒を表現する際に使う言葉。「香り」や「味」はお酒を注いだとき、口に含んだとき、そして喉を通ったのちのなごりと、どんどん変わっていきます。その感覚を声に出して表現するだけでも楽しいですし、自分の感受性が鍛えられるような気がします。お酒をいたぐる器選びも楽しいですよ。自宅ではお酒の香気を引き立ててくれるワイングラスを使用することが多いのですが、夏はガラスの器、冬は備前焼の徳利と品を変えて季節の雰囲気を丸ごと楽しんでいます。ただ酔うためだけではなく、お酒を取り巻く繊細な文化を日常に取り入れていくことができるのも、おもしろみの一つではないでしょうか。

残念なことに、私たちの世代の日本酒離れは進んでいて、せっかく杜氏や蔵人が子育てをするように大切にお酒を作っても飲んでくれる人がいないのが現状です。悪酔いした、二日酔いをした、と、なんとなく敬遠されるイメージの強い日本酒ですが、お米とお水だけで作られる純米酒などはアミノ酸が豊富で、美容と健康にはおすすめの食品。お酒を一口飲む毎にお水を一口飲むことを『和らぎ水』といいますが、こうすることで上手に酔いながらお酒の味を楽しむことができます。日本酒はおつき合い次第で様々な表情を見てくれる飽きのこないボーイフレンドのようなものでしょうか。(笑)



全国きき酒選手権で入賞の喜びを語る

Q これからの活動のご予定は？

日本酒の魅力をもっと多くの若い人たちに知ってもらいたいと思います。日本酒について調べていくと、旅行記になり、グルメになり、文化考察のトピックにもなる。おいしいものに目がない人にも、知的欲求が強い人にも応えてくれる懐の深い対象です。日本酒はイタリアンやフレンチ、デザートにも合いますよ。意外かも知れませんが、生酒とショートケーキの組み合わせもなかなかです。昔のように…とはいいかかもしれませんが、今の私たちの生活の中にもう一度浸透してくれればいいですね。実は私、日本酒だけを入れる冷蔵庫が部屋にあるのですが、「宝石箱」と呼んで大事にしています。(笑)これからもブログを続けながら宝石のような日本酒と出会い、日本酒の伝統と文化の入口を拓げていく役割ができたたらと思います。



登録者連絡用はがき

必要事項をご記入の上個人情報保護シールを記入欄の上に貼りご投函ください。

■住所変更連絡欄（変更後の住所等を記入）

〒 -

☎

■封筒の種類（どちらかに○印）

白封筒 定住機構の名前入り封筒

Aターン希望登録内容を変更したい場合や求人情報などの資料請求、または情報誌へのご意見・ご要望、今後取り上げて欲しい事項等ございましたら、お気軽にお寄せください。



氏 名

登録番号 -

生年月日 昭和・平成 年 月 日 生

登録住所 〒 -

☎